

一 次の問一～問三の問いに答えなさい。

- 問一 次の1～8の——線部のカタカナを、漢字または漢字と送りがなに直しなさい。
- 1 天気の良い日は、コガイで遊ぶ。
 - 2 すもうは日本のコクギだ。
 - 3 目にゴミが入ったので、センガンする。
 - 4 ホチヨウをそろえて行進する。
 - 5 遠足が雨でエンキされた。
 - 6 東京からシンカンセンで九州に行く。
 - 7 優勝の栄光にヨクスル。
 - 8 ゆかに水をタラシタ。

問二 次の1～4の——線部の漢字の読みを、ひらがなで答えなさい。

- 1 揮^フ発油でよごれを落とす。
- 2 時間のつごうで一部を割^ワ愛して話した。
- 3 外国の子供を交^マえて遊ぶ。
- 4 この虫はトンボのなかまに属^{ザク}する。

問三 次の1～4から、使い方の誤った漢字をそれぞれ一字ずつぬき出し、正しい漢字を答えなさい。

- 1 赤・緑・青は光の三源色だ。
- 2 父は暑いお茶が何よりの大好物だ。
- 3 一学期は前年度より成績が上がった。
- 4 昭和から平成になってもう二十年以上が経過しました。

二 次の問一～問三の問いに答えなさい。

問一 次の1～5の文の組み立て(文節の係り受け)を表した図として、最も適切なものを、下のア～カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。なお「/」は文節の切れ目を表します。

- 1 私は/かべに/かかった/カレンダーを/見た。
- 2 父は/そうだ/京都に/行こうと/言った。
- 3 その/白い/消しゴムを/使って/消しなさい。
- 4 青い/湖面に/船が/点々と/うかぶ。
- 5 パンが/こんがりと/焼けて/とても/おいしそうだ。

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

問二 次の1～4の漢字の太線部は何画目ですか。また、総画数は何画ですか。それぞれ算用数字(1、2、3、...)で答えなさい。

- 1 薬
- 2 観
- 3 毎
- 4 方

問三 次の1～4は四字熟語の前半二字です。後半二字を、後のア～クからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。また、意味としてふさわしいものを、後の①～⑧からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|-------------------------|--------------------------|------|-------------------------|
| 1 一陽 | 2 疑心 | 3 主客 | 4 一朝 |
| ア 暗鬼 <small>あんき</small> | イ 無実 | ウ 来復 | エ 依然 <small>いぜん</small> |
| オ 異曲 | カ 転倒 <small>てんとう</small> | キ 強食 | ク 一タ |
-
- ① 重要なものとして取りちがえること。

② 表面は違ちがうようで内容は同じであること。

③ なんでもないことでも恐ろしく不安になること。

④ しばらく不運だったが、やっと運が向いてきたこと。

⑤ 昔からのありさま

⑥ 弱いものが強いものに滅ぼされること。

⑦ たいへん短い間

⑧ 評判ばかりで実質が伴わないこと。

② 表面は違ちがうようで内容は同じであること。

④ しばらく不運だったが、やっと運が向いてきたこと。

⑥ 弱いものが強いものに滅ぼされること。

⑧ 評判ばかりで実質が伴わないこと。

三 次の文はデジタルの仕事について説明した本の一部です。これを読んで、後の問一～問十の問いに答えなさい。

「人」という字は、二人の人間が支えあう姿から作られた漢字だと言われている。人は、1人では人ではない。それが先人の教えだ。そして、人を人間とも言う。人と人の間に何かがあって人間というわけだ。ぼくは、それがコミュニケーションだと思うのである。

人が何故、支えあえるかと言えば、そこにコミュニケーションがあるからだ。身振り手振りや声で届かないとき、人は、例えば洞窟の壁に絵を描いた。数千年も残った絵は、時を越えて人と人の間に何かを伝えてきた。今の言葉でいえば、洞窟の壁がメディアで、描かれた絵がコンテンツだ。

人は、場所も越えて何かを伝えようとした。草から紙を作る技術を編み出し、そこに書を X、遠くにいる人に何かを伝えた。紙がメディアで、書がコンテンツだ。

そのようなコミュニケーションの中で、人は、知を貯えていくことになる。誰かから受け取った知に、さらに自分の経験で得られた知を加えて他の人に伝えていったのだ。それは、やがて人間社会に狩猟採集という生活から、農耕牧畜という革命的な生活をもたらした。

さらに知恵を貯えていった人間は、科学技術という高度な知恵の集積を基礎にして、産業革命を起こしていく。産業革命の象徴のような蒸気機関車は、次にガソリンを燃やして走る自動車になり、そして今では、科学燃料を燃やすロケットとなつて、人間を月に到着させた。それが20世紀までの人間の発展だったとも言えるだろう。

そして21世紀、私たち人間は、もう一度、新たな、そしてこれまでより大きな革命を経験しようとしている。それが、コンピュータとネットワークが作り出すデジタルコミュニケーションによる革命だ。

この革命がこれまでの革命ともっと大きく違うところは、社会の一部の人間が発案し、指導し、広めていくというようなものではないということだ。コンピュータとネットワークが作り出す、広大な空間を利用して、それぞれの人間が個人で他の人々に向けて、どのような活動でも行うことができるのだ。

A、その活動を行うには、これまでの人間が貯えた知恵を、どんどん利用することも必要だろう。多くの仲間、協力者、理解者も必要だろう。そのコミュニケーションも含めて、すべてネットの中でできてしまう。

これまで個人ではできなかった活動が可能になる。この活動をたくさん人間がやるようになったとき、その全体の変化は、とても大きなものになっていく。これを革命と言わずして、何と云うのだろうか？

地球を包む規模の Y、それがコンピュータとネットワークなのだ。そしてその上に、いかなる活動も行いうることができる。その活動こそコンテンツなのだ。

本書には、ほんの少しだけ、他の人々より早くそのことに気がついて、自分のやりたいことをデジタルの上に築いた人たちに集まってもらった。人と人の間の何かを創るという人間が持つのも人間らしい営みを、最先端の科学技術を手軽に利用して行いうのが「デジタルの仕事」なのだ！

先輩たちの自由な精神に、みなさんはきっと「デジタルの仕事」の醍醐味を発見されるはずだ！

B、今、指先に乗るコンピュータがある。他のコンピュータたちと、きちっと連絡を取り合って、間違いなく、私たち人間を支えてくれる。 C 間違いなく、連絡を取り合えるのだろう。それは、ひとつひとつのコンピュータが異なる住所をもっているからだ。

その住所は〇〇県〇〇市というような住所ではなくて、単に0と1が並んでできている。これまで使われてきたコンピュータの住所は、その0と1が32個並んでいた。つまり2進法で32桁ということだ。0が32個並んでいるところから始まって、最後の1ばかり32個並ぶところまで、順番に増えていくわけだが、これを10進法に直すと40億をちょっと超えた数になる。この住所は、IPアドレスと呼ばれている。

1960年、地球上に約30億人の人間が暮らしていた。それからたった39年後の1999年、人間の数は60億人を超えてしまった。これからは世界中の人が、いくつものコンピュータを生活の中で使いこなすようになる。 D コンピュータの住所は、40億という数では、1人に1つずつの住所を持つても足りないのだ。

そこで、コンピュータとインターネットの専門家たちは、これを増やすことを考えた。0と1が並ぶ桁数を増やせばいいのだが、いくつ増やせばいいのだろう。いろいろと工夫された案が出てきて、しばらくの間議論が議論を呼んで決まらないでいた。しかし、その間にコンピュータの主要な部品である半導体を製造する技術は、どんどん進化していったのである。

そして、素晴らしい精巧な半導体が安く作れるのなら、思い切って、それまでの4倍の桁数にしてもよいのではないかという案になった。4倍にすると、今まで世界で動いている多くのコンピュータが持っている32桁の住所をそのまま使いながら、新たに設定した128桁の住所を使うことがとても容易いというのだ。(杉山知之「デジタルの仕事がしたい」より)

問一 にあてはまる語句として最も適切なものを、次のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
ただし、同じ記号を二回以上使ってははいけません。

ア もちろん イ だから ウ でも エ さて オ なぜ

問二 にあてはまる語として最も適切なものを、次のア～オから一つを選び、記号で答えなさい。

ア はぐくみ イ わきまえ ウ ほのめかし エ あつらえ オ したため

問三 線部 a 「それ」とは何を指しますか、本文中の言葉を使って、十字以内で答えなさい。

問四 線部 b 「これを革命と言わずして、何と言うのだろうか？」の意味として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア これは革命そのものである。
イ これは革命と呼べるだろうか。
ウ これは革命ではないだろう。
エ これは革命と呼ばれているだけである。
オ これは革命とは呼べないので、どう呼ぼうか。

問五 線部 ① 「20世紀まで」の革命と、② 「21世紀」の革命の、大きな違いを説明しなさい。

問六 本文中の に入る語を本文中から四字ちょうで抜き出して答えなさい。

問七 線部 ③ 「もっとも人間らしい営み」とは何ですか、本文中から一語で抜き出して答えなさい。

問八 線部 ④ 「コンピュータが異なる住所をもっている」について、この住所を何と言いますか、本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問九 線部 ⑤ 「1人に1つずつの住所を持ってもらうこともできない」のはなぜですか、その理由を四十字以内で説明しなさい。

問十 次の文は、本文を要約したものです。ア～クの「」内にあてはまる語句を、それぞれ指定された文字数で、本文中からぬき出して答えなさい。

人を人間とも言うが、人と人との間にあるものとは「^ア9字」だ。昔から絵や書は、時や場所を越えて何かを伝えてきたのであり、洞窟の壁や紙は「^イ4字」、絵や書は「^ウ5字」と言える。これにより人間は知恵を貯え、農耕牧畜という革命的な生活を営むようになり、科学技術を基礎にして「^エ4字」を起こした。
二十一世紀の大きな革命は「^オ4字」コミュニケーションによる革命である。これは、一部の人間の発案、指導ではなく、コンピュータと「^カ6字」を利用して、各個人が他の人々に向けて行う活動が広がり、全体に大きな変化をもたらすものである。ここで、コンピュータ同士が連絡を取り合えるのは「^キ6字」のおかげだが、地球人口の増加で数が足りなくなってしまった。しかし、技術革新で性能のよい「^ク3字」ができ、問題は解決した。